

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年11月4日(2005.11.4)

【公開番号】特開2000-61084(P2000-61084A)

【公開日】平成12年2月29日(2000.2.29)

【出願番号】特願平11-179758

【国際特許分類第7版】

A 6 3 F 7/02

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成17年8月10日(2005.8.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技盤(4)に設けられた図柄表示手段(18)と、図柄制御基板(21)とを備え、遊技盤(4)の裏側に、該遊技盤(4)の図柄表示手段(18)及び他の遊技部品を覆う裏カバー(31)を設け、該裏カバー(31)に、遊技制御基板(32)を収納する基板ケース(35)を着脱自在に設け、遊技制御基板(32)に設けられ且つ遊技内容に従って主に遊技盤(4)側の制御を行う遊技制御手段(40)と、図柄制御基板(21)に設けられ且つ図柄表示手段(18)の1つ以上の図柄を変動制御する図柄制御手段(22)と、図柄表示手段(18)の変動後の停止図柄の結果により、遊技者に有利となる利益状態を発生させる機能とを備え、図柄制御手段(22)は予め定められた所定の変動態様で前記図柄を変動させるための変動制御指令を出す複数種類の変動制御指令機能を備え、遊技制御手段(40)は複数種類の変動制御指令機能の何れかを指定する簡略化された指令機能指定信号(S)を適宜出力する機能を備え、複数種類の変動制御指令機能の内、遊技制御手段(40)からの指令機能指定信号(S)により指定された変動制御指令機能に従って図柄表示手段(18)の前記図柄を制御する機能を備えたことを特徴とする遊技機の図柄制御装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

【課題を解決するための手段】

本発明は、遊技盤4に設けられた図柄表示手段18と、図柄制御基板21とを備え、遊技盤4の裏側に、該遊技盤4の図柄表示手段18及び他の遊技部品を覆う裏カバー31を設け、該裏カバー31に、遊技制御基板32を収納する基板ケース35を着脱自在に設け、遊技制御基板32に設けられ且つ遊技内容に従って主に遊技盤4側の制御を行う遊技制御手段40と、図柄制御基板21に設けられ且つ図柄表示手段18の1つ以上の図柄を変動制御する図柄制御手段22と、図柄表示手段18の変動後の停止図柄の結果により、遊技者に有利となる利益状態を発生させる機能とを備え、図柄制御手段22は予め定められた所定の変動態様で前記図柄を変動させるための変動制御指令を出す複数種類の変動制御指令機能を備え、遊技制御手段40は複数種類の変動制御指令機能の何れかを指定する簡略化された指令機能指定信号Sを

適宜出力する機能を備え、複数種類の変動制御指令機能の内、遊技制御手段40からの指令機能指定信号Sにより指定された変動制御指令機能に従って図柄表示手段18の前記図柄を制御する機能を備えたものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0067

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0067】

【発明の効果】

本発明によれば、遊技盤4に設けられた図柄表示手段18と、図柄制御基板21とを備え、遊技盤4の裏側に、該遊技盤4の図柄表示手段18及び他の遊技部品を覆う裏カバー31を設け、該裏カバー31に、遊技制御基板32を収納する基板ケース35を着脱自在に設け、遊技制御基板32に設けられ且つ遊技内容に従って主に遊技盤4側の制御を行う遊技制御手段40と、図柄制御基板21に設けられ且つ図柄表示手段18の1つ以上の図柄を変動制御する図柄制御手段22と、図柄表示手段18の変動後の停止図柄の結果により、遊技者に有利となる利益状態を発生させる機能を備え、図柄制御手段22は予め定められた所定の変動態様で前記図柄を変動させるための変動制御指令を出す複数種類の変動制御指令機能を備え、遊技制御手段40は複数種類の変動制御指令機能の何れかを指定する簡略化された指令機能指定信号Sを適宜出力する機能を備え、複数種類の変動制御指令機能の内、遊技制御手段40からの指令機能指定信号Sにより指定された変動制御指令機能に従って図柄表示手段18の前記図柄を制御する機能を備えているので、図柄表示手段22の図柄の変動態様を容易且つ安価に変更できると共に、検定機関等での変更後の検査に際してもその検査を容易にでき、しかも遊技制御手段40から図柄表示手段18側へと伝送するデータ量を少なくでき、データの伝送ミス等のトラブルの発生を極力少なくできる利点がある。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0068

【補正方法】削除

【補正の内容】